

心の花束

様似町子育て支援だより

平成30年 9月 No.6

子育てサロン室内では、お気に入りのコーナーでお母さんやお友達と一緒に遊んでいます。ままごとコーナーでのお料理作りや赤ちゃん人形のお世話もなかなか様になっています。人気のシール貼りは、はじめは自分ひとりでできないですが、何度もお母さんの真似をしたり、指の力加減を調節できるようになると、ひとりで貼ることができるようになります。自分でできた時の嬉しそうな子どもの表情と「できたね」と一緒に喜ぶお母さんの姿がほほえましく、「上手にできたね」とサロンに来ているみんなで成長を喜ぶあたたかいひとときでもあります。ホールあそびではトランポリンとネット橋が人気で、高い場所に上がっていく子ども達にハラハラしてしまいますが、お母さん方がどの子にも目を配ってくださり、声をかけてくださるので、楽しく安全にあそぶことができます。子育てサロンが、子育ての情報交換、困りごとの相談やアドバイスの場、そして親同士共感し合って、子ども達の成長と一緒に喜んでいく場所になっていることを感じます。今月も、下記の日程通り開設していますので、気軽にあそびに来てくださいね。

〈子育てサロンの予定 9月〉

	ひよこグループ (妊婦・0～1歳) 10時～12時・14時～16時	りすグループ (1歳(歩けるようになった子)～就学前) 10時～12時・14時～16時	
子育てサロン ぱんだ組	4日(火曜日)	5日(水曜日)	6日(木曜日)
	18日(火曜日)	19日(水曜日)	20日(木曜日)
	25日(火曜日)	26日(水曜日)	27日(木曜日)

*9月11日(火) おでかけサロン(幼児健診)

『赤ちゃん和妈妈の眠り』

赤ちゃんの“寝る力”を上手に伸ばすためには、ママの心と体の状態や生活習慣も大きく影響します。

2 就寝前や寝かしつけのスマホ使用は避けましょう

寝かしつけの際、ママがスマホを使用したり、絵本アプリなどを就寝前の赤ちゃんに見せると、脳を刺激して「メラトニン」の分泌を低減させ、覚醒させるおそれがあります。ママのSNSの閲覧などは翌朝にしましょう。睡眠のかたちは十人十色。赤ちゃんの月齢や個性にあった安眠を導くコツをつかみ、家族みんなで睡眠を大切にしたいですね。



《子育て相談》

- ・相談日・・・土曜・日曜・祝祭日を除く月曜日～金曜日
- ・時 間・・・午前9時～午後5時まで
- ・TEL・・・36-5521 *FAX・・・36-2203
- ・〒058-0015 様似町錦町1番地の8(様似町立幼児センター子育て支援係)
- *電話・面談・訪問のいずれも受け付けています。気軽にご相談ください。

〈子育て講演会〉

講演内容

『子育てって大変！！～子育てのコツ教えちゃいます』

講師 うらかわエマオ診療所

児童精神科医 八十川 真理子 氏

日時 9月30日(日)13:00～15:00

場所 幼児センター(幼稚園ホール)

自身の子育て経験から、さらに児童精神科医として「子育てが少し楽になるコツ」をお話していただきます♪

☆みなさんの参加をお待ちしています。

託児もあります。ご利用ください。

☆参加希望の方は28日(金)までにお知らせください。

〈ピクニック〉

日時 9月28日(金)10:00～11:30

場所 観音山(現地集合解散)

もちもの ぼうし おやつ のみもの

しきもの 着がえ

*申し込み 9月27日(木)まで。

*悪天候の場合は室内あそびです。



〈親子でお料理〉

日時 10月19日(金)10:00～12:30

場所 保健福祉センター調理室

もちもの エプロン バンダナ のみもの

おしぼり 参加費 500円

*申し込み 10月16日(火)まで。

〈プレ保育〉

日時 10月15日(月)10:00～11:30

場所 幼児センターちゅうりっぷ組(0歳児)

たんぽぽ組 (1歳児)

対象 幼児センター入園を考えている方

幼児センターの生活を見学したい方

・0歳児は平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれの

子どもと親2組

・1歳児は平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれの

子どもと親3組

*10:00～11:30は、主に室内あそび、排泄、食事の時間帯

なので、それぞれの場面での子どもと大人の

関わりを見学、体験します。(食事は見学のみ)

*申し込み 10月9日(火)まで。



〈今月の歌〉

「どんぐりころころ」

〈今月のわらべうた〉

「にほんばしこちょこちょ」

〈今月のあそび〉

「ひげじいさん」

〈今月の絵本〉

「おつきさまこんばんは」



：9月1日防災の日：

防災の日は、1923年9月1日に発生した関東大震災を教訓とし「台風や高潮、津波、地震等の災害について認識を深め、それらの災害について対処する心構えと準備をするため」として1960年に制定されました。秋は台風が発生し日本に接近しやすい時期であり、近年は局地的な豪雨が増加傾向であるため、日ごろから防災について意識し、備えておくことが必要です。これまで、北海道や東北では大規模な洪水被害はないといわれてきましたが、ここ数年、大気の状態の変化により北海道や東北にも台風が上陸するケースもあり、被害も大きくなっています。過去の気象情報や経験からは予測できない被害に見舞われることもあるため、日本全域で集中豪雨、洪水などの激しい気象状況に十分気をつけ、適切な対処をしなければなりません。

